



施策の柱「地域」

地域

① コミュニティセンターを核とした地域づくり

町民が主役の地域づくりをより一層実践するため、地域づくりの拠点となるコミュニティセンターを中心に、地域の課題やその解決方法などについて議論を重ねていただいております。今後も引き続き活発な地域づくりの拠点としての活動が行われるよう、すでに5名配置した地域おこし協力隊の増員も含め支援します。

② 定住条件の充実

道路交通網の整備については、主要地方道長井白鷹線新荒砥橋架替工事の早期完成を目指し推進してまいります。

土砂災害対策では、大林寺、高岡地区の急傾斜地崩壊対策事業及び豪雨により法面崩落が発生した箕和田及び関寺地区の復旧を図るため、急傾斜砂防自然災害防止事業に取り組みます。

町道整備は、谷町八ヶ森線の歩道整備のほか、維持補修を実施し、交通の安全確保を図ります。橋梁は、長寿命化修繕計画に基

づき、老朽化の激しい町道橋の計画的な補修工事を実施します。地籍調査事業は、萩野地区の区長登記の調査継続等を実施します。

住宅施策は、木造住宅の耐震化や住宅のリフォームに対し支援を行うとともに、町内への定住促進を支援するため「すまいる！四季の郷」定住促進プロジェクト及びすまいる住まい！若者定住サポート事業を実施します。

下水道事業は、施設の適切な維持管理及び水化率の向上を図るとともにマンホール蓋の更新工事を実施します。また、荒砥橋架替に伴う鮎貝中継ポンプ場及び周辺管渠の移設工事を進めます。

水道事業は、安心でおいしい水を安定的にお届けするため、施設の管理、運営に万全を期してまいります。設備の更新を計画的に実施するとともに、経費の節減に努め財務内容を改善し、経営基盤の強化を図ります。

地域公共交通は、デマンド型乗合タクシーと住民混乗型スクールバスを継続運行するほか、山形鉄道株式会社経営改善に向けた支援に取り組みます。デマンド型乗合タクシーは、運転免許自主返

度をさらに高めるため、「観光」と「生産」の両面を推進し、誘客拡大に結び付けます。インバウンドも含め、来町されるお客様にもてなしの心で対応するため、観光インフォメーション機能の充実など体制強化に取り組みます。産業間の連携については、産業振興戦略会議を主体に6次産業化へ支援を行います。また、「SHIRATAKA RED（シラタカ・レッド）」のブランド化や情報発信に取り組みほか、農工商観連携を推進するため町産業フェアを引き続き開催します。

④ 環境保全、エネルギー施策

第2次白鷹町環境基本計画に基づき、持続可能な美しいまちづくりに向け取り組みます。

ごみ処理基本計画及び地球温暖化対策実行計画に基づき、ごみ減量化やCO2削減など町民と一体となった取り組みを進めます。

再生可能エネルギー活用については、普及推進を図るため、個人住宅の太陽光発電設備の設置に対する助成や、地域の森林資源の活用を目指しペレットストーブ及び薪ストーブの購入に対する助成を実施します。